

# 「空手道について」

2017年7月1日  
月心会 西東京本部 浜田山支部  
名嘉 尚

親子で空手を始めてはじめはただ続けることを目標に。次第に黒帯になることが目標になり、黒帯になってからのことは何も見えていませんでした。正直、黒帯という目標を果たしたらもう空手はいいかなとすら思っていました。

黒帯になるまでは常に自分自身の練習にのみ励んでいればよかったです。黒帯になってからは色帯の方たちの指導に入り、指導する難しさと自分自身の練習時間が減ったことでモチベーションは下がっていきました。

しかし、自分も黒帯の方たちに指導されてきました。自分も返していかなければいけないという思いもあり続けなければと思いました。

続けていくとある時突然次の目標が見えてきました。それと同時に人に指導していくうちに自分も学んでいることに気が付きました。

そして、練習時間が少ない中で今回の昇段試験の指導に時間をさいてくださった黒帯の先輩方からさらに自分のことだけではなく、協力し合い自分の技術を伝えていく姿勢を学びました。

周りとかかわることが苦手で一人で黙々と練習をしていた色帯時代。黒帯になって今までも一人ではなく本部長をはじめ黒帯の方たちが繋げてくれたのだと悟り、自分もその姿勢を学びながら周りの方と係わるようになったこと。練習時間を自分で作るようになったこと。自分自身少しずつ変わってきているように思います。

空手を続けていきことで、新しいことが見えてきて新しい目標が生まれてくる。これが私の空手道であり、終わりのないものだと思います。

これからも市川本部長を道しるべに、黒帯の先輩方の背中を追いかけながら精進していきたいと思います。